



ブラジリアの風



本年2021年もよろしくお願い申し上げます

「わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。」エレミヤ書33:3

～2020年を振り返りつつ～

主の御名をほめたたえます。冒頭のみことばは、私（陽子）がこの一年、いつも心のなかで思い巡らし力をいただいていた主のことばです。

私は昨年1月、ポリプ切除の手術をし、2月から日本語学校での奉仕を始めました。しかし、3月11日夜、「東日本大震災」丸9年を思いながら祈っていた最中に、この首都ブラジリアで緊急事態宣言が発令されました。当時コロナ感染者はまだ1名で、5日間の自粛予定でしたが、それが15日間、3週間と次々に延長されていきました。私は何が起きているかを正確に知るため、必死で新聞やニュースに見入る日々でした。生活のために最低限必要なスーパー、薬局、病院、ガソリンスタンド以外はすべてお休み。子どもの学校も日本語学校も、順次オンライン授業に移行して行きました。

主人と4人の子どものオンライン環境を整備し落ち着くまでに数ヶ月を要し、また家族の心身の健康を保つために知恵を祈り求める日々でした。特に発達課題を抱える四男にとっては負荷が大きくなり、精神的不安や学習意欲の低下が顕著になり、家族あげてのサポートをする日々が続きました。幸い、主は絶えず道を開き、助けを与え続けて下さいました。



湧希
Yuki

翔
Sho

真理生
Mario

聖也
Seiya

私は日本語学校の働きはできなくなりましたが、いつも祈り伝道している方々に、主人のビデオメッセージを送り、ときにお会いして話を伺い、共に祈る機会がコロナ以前よりも与えられていることに、主のなさることの不思議を思い巡らしています。

アブラハムが異国の地で「主のための祭壇を築き、主の御名を呼び求めた」（創12:8）とあるように、私たちも主が遣わして下さったこの地で家族で心合わせて祈りながら、さらに主のみわざを見させていただきたいと願っています。（陽子）

私(献)は、オンラインやビデオによって日本の諸教会への宣教報告や礼拝説教奉仕を行っています。また「何とかして幾人かでも」との思いで毎週日本語のミニメッセージを配信し、訪問伝道も再開しています。教会関係者のなかにもコロナで亡くなる方が出てきていますが、どのような状況にあっても主の憐れみと真実が確かであることをお伝えしていきたいと願っています。「あなたのあわれみが速やかに私たちを迎えるようにしてください」詩篇79:8 (献)

感謝の報告と祈りのお願い

- ・2020年の指定献金目標額が達成されたことを感謝！
- ・コロナ禍で人々が真の主に立ち返り救いを得るように。
- ・2月から学校を転校する次男三男四男の適応のために。
- ・ブラジリア教会の安井牧師夫妻と教会員の祝福。

「浜田宣教師指定」献金者一覧（2020年11-12月）

豊田神池礼拝教会、小湊礼拝福音教会、豊川中央礼拝教会、小松中央教会、くずは聖書教会、国立礼拝教会、蛭池聖書教会、光の森聖書教会、霞ヶ関礼拝教会、播磨礼拝教会、渡辺賢治、近藤愛哉、安城中央礼拝教会、石神井福音教会、白井聖書教会、総和礼拝教会、波崎礼拝教会、矢作礼拝教会、知立礼拝教会、松戸福音教会、但見亮、相馬礼拝福音教会、衣笠中央礼拝教会、招待礼拝教会、鞭木由行、恋ヶ窪礼拝教会、松原聖書教会、千葉礼拝教会、小平聖書礼拝教会、北陸飛騨宣教区、原町礼拝教会、追浜聖書教会（敬称略）

（11-12月合計） **426,576円**

（1-12月累計） **1,730,488円** （2020年目標額:160万円）

皆さまのお祈りとご支援により目標額が満たされました！
心からの感謝を申し上げ、主の御名をあがめます。

2021年目標額：170万円

引き続き皆様とのりなしをお願い申し上げます。